

(5)評価委員の意見

- ①子供達が自分でやりたい、なりたい自分を見つけて行けることは大切だと思う。
- ②設定項目を見直して、学校改善に努めている点が評価できる。
- ③教師、生徒、保護者の実態把握をして、課題を明確にし、教師が一丸となって取り組んでいる姿が見えて好感が持てる。
- ④授業での ICT を活用した学習活動に今後も力を入れて行ってほしい。
- ⑤少子化の時代に、できることも限られている中、学校として十分な取り組みができてきていると思う。さらに継続して行ってほしい。
- ⑥教育は結果がすぐに出るものではないので、今年度の方策が適切であったかどうか即断はできないが、前年度との比較によれば適切なものであると言える。
- ⑦卒業していく時に「この学校に入学してよかった」という感想を持ってくれる生徒が増え、保護者も同感であったことは良いと感じた。
- ⑧これからも多くの体験活動や資格取得に向けての取り組みを強化し、学園の特色として出して行けると良いと思う。
- ⑨「生徒に公平に接しているか」という質問に着目した。生徒は多様であるから、教員に求められる対応は個々で異なる。それを生徒がどのように受け止めるかも考え合わせると、「公平に」というのは難しい言葉だ。「公平・平等」の考え方そのものを生徒に考えさせる機会を設けてみてはどうか。